

ブラジルへの資金流入が活発化

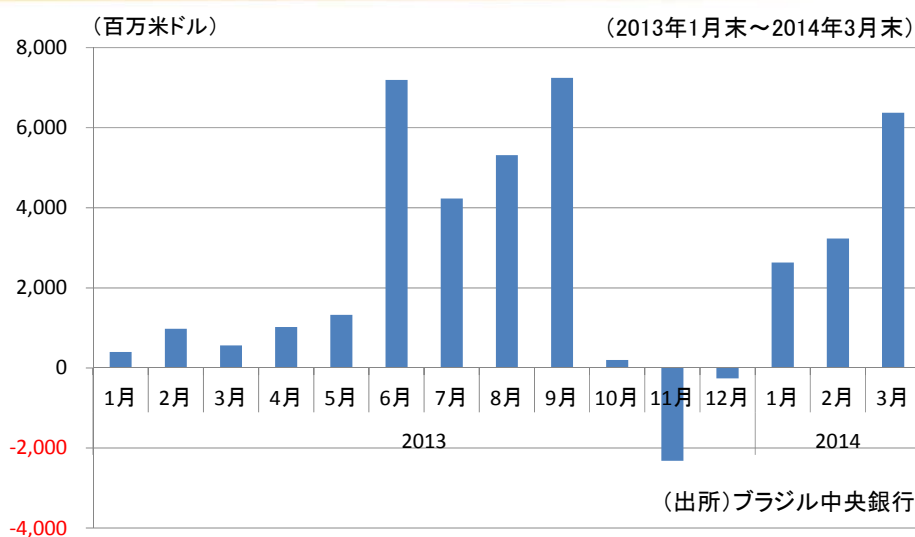
2014年5月8日

<外国人投資家の動向>

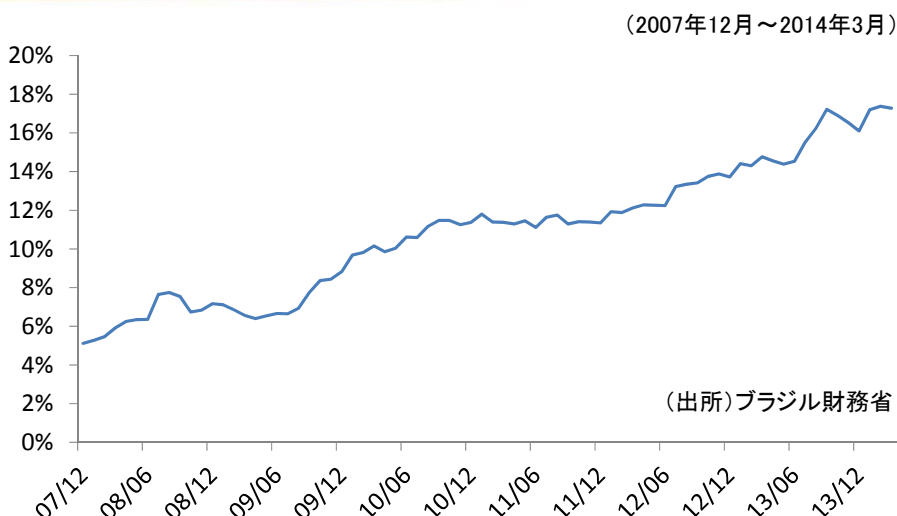
外国人投資家がブラジル債券への投資意欲を強めています。

ブラジル中央銀行によると、外国人からの資金流出入は2014年に入りプラスに転じ、3カ月連続で流入超になりました。また同国財務省によると、2014年3月末の非居住者の国債保有金額は3,438億レアル(約15兆5千億円、1レアル45円で計算)に達し、発行額の17.3%を占めています。

ブラジル国外からの債券投資フロー



非居住者による国債保有比率



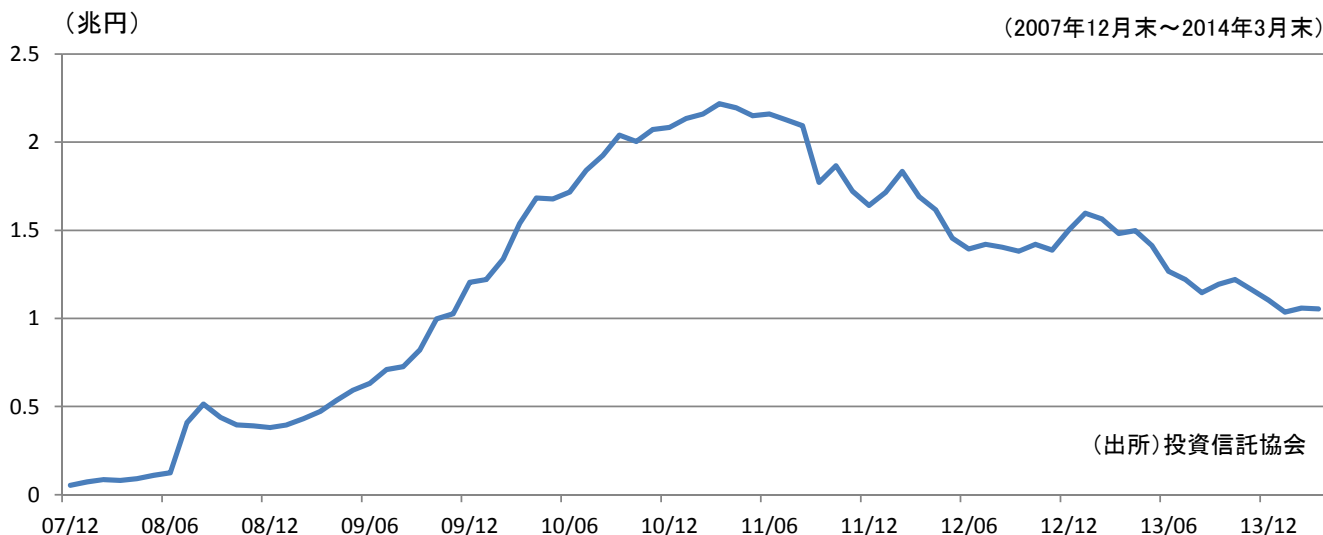
当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

ブラジルにとっては同じ外国人でも、日本の投資家のスタンスはやや異なっているようです。わが国のブラジル債券への投資状況を投資信託協会発表の統計で見ると2兆2,171億円(2011年3月)から1兆533億円(2014年3月)へ減少しています。

契約型公募投資信託のブラジルレアル建て公社債純資産



<資金流入の背景>

外国人が足元でブラジル投資を活発化させている背景は、ブラジルの投資環境が改善し、投資魅力が高まっているためだと思います。

まず国内要因としての投資環境の改善としては、政府の財政健全化路線の継続方針が示されたことが挙げられます。政府は2月、2014年の当初予算案に対して440億レアルの歳出削減を決め、基礎的財政収支目標を対名目GDP(国内総生産)比1.9%の黒字に設定し、投資家のブラジル債券に対する投資魅力が強まりました。

次にブラジルの格付けが3月に格付会社スタンダード・アンド・プアーズによって引き下げられました(自国通貨建て長期格付けA⇒BBB+)が、格付けは依然として投資適格級であり、格付け見通しがそれまでの「ネガティブ」から「安定的」となったこともブラジル債券の安心感を高めたと思われます。

さらにこれまで利上げを続けてきたブラジル中央銀行の金融政策姿勢に変化が見られはじめたことで、金利上昇リスクが低下してきたことも投資環境の改善に寄与しました。

一方、外部要因としては、米国の量的金融緩和縮小にも関わらず先進国のボラティリティ(市場変動性)が低水準で安定推移していることが挙げられます。ボラティリティが安定している環境では、通常は投資家のリスク許容度が増大し、投資資金はより高い利回りを追求しやすくなると考えられます。実際に先進国の債券市場では、ハイイールド社債にみられるようにスプレッド(社債等の国債に対する上乗せ金利幅)の縮小が顕著です。同じ理由から、高い利回りを提供するブラジル国債も有望な投資先として注目されていると思われます。

投資環境の改善を受けて債券市場と為替市場は堅調に推移しており、債券市場では金利は低下し、為替市場ではレアル高となりました。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

最近の債券市況と為替市況

	2013年12月末	2014年4月末	騰落率 (利回りは騰落幅)
レアル円	44.58	45.80	2.73%
短期国債利回り (2016年1月償還)	12.17%	12.01%	▲0.16%
長期国債利回り (2023年1月償還)	13.17%	12.48%	▲0.69%

(出所)ブルームバーグ

＜今後の見通し＞

債券市場については金利は横ばい、ないしは金利低下が見込まれます。ブラジル中央銀行はインフレ懸念に対処するために2013年4月から利上げを始めました。しかし最近の金融政策決定会合の声明文や議事録、あるいは中央銀行関係者の発言では、利上げのインフレ抑制効果は今後現れ、将来的にインフレ率は沈静化すると示されています。こうした発言などから、中央銀行は利上げ打ち止めに視野に入れていると推測され、近い将来にも金融政策が変化する可能性が想定されます。金利上昇リスクは以前より低下しており、債券市場は堅調な相場展開が見込まれます。

為替については強弱要因が混在しているため、レンジ相場を見込んでいます。レアル高要因としては、需給の改善が継続する可能性が高いことが挙げられます。ブラジル国債は高い利回りを提供している上に、投資適格級格付けを維持しているため、外国人にとって魅力ある、投資価値の高い投資対象です。米国の量的金融緩和縮小や不透明なウクライナ情勢は新興国通貨に共通する下落リスクですが、先進国の金融市場の安定と投資家の利回り志向は根強いとみられるため、外国人のブラジルへの投資姿勢に大きな変化はないと思われます。

ブラジル・レアルはレンジ相場が見込まれる一方、債券からは高い利回りによるインカムゲインを享受できるなど、総合的に見てブラジル国債は魅力的な投資機会を提供していると考えられます。

以 上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会